

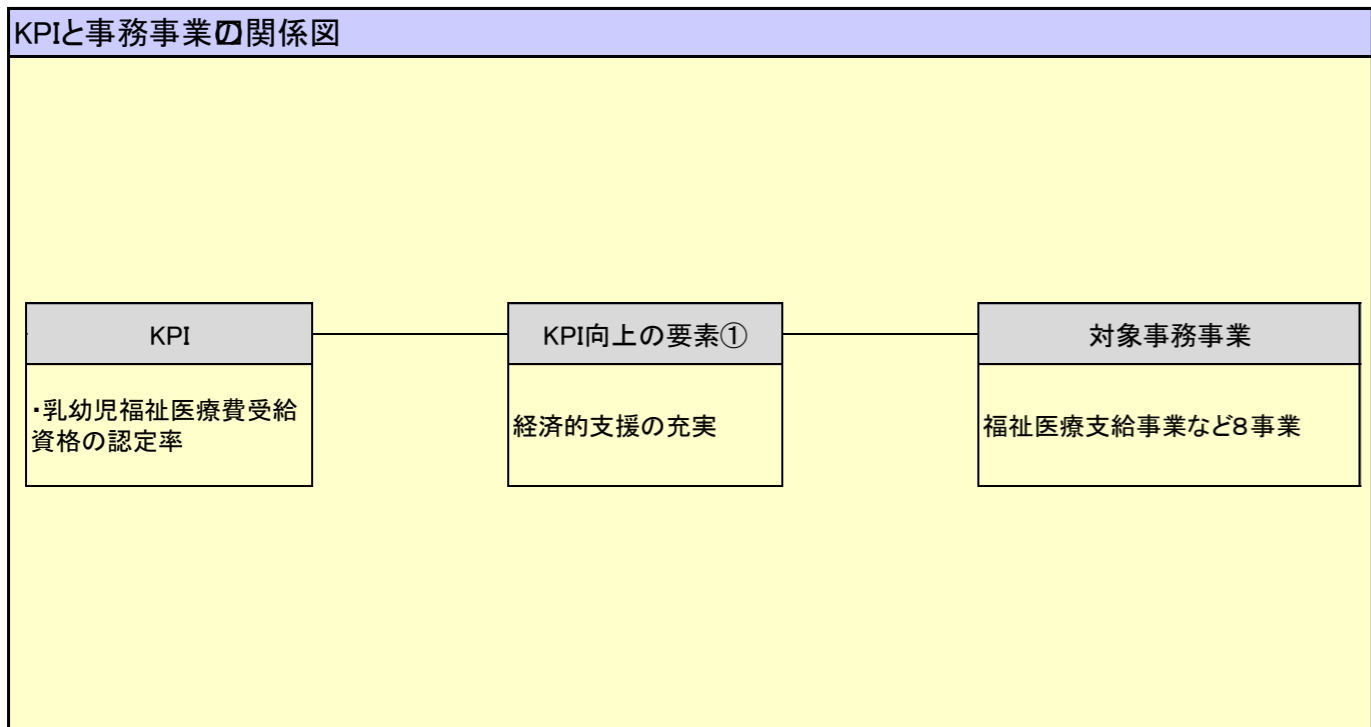
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	子ども未来部	責任者 (部局長名)	竹下 由美
------	--------	---------------	-------

施策名	母子保健の推進と安心な育児環境の充実		施策の方向性	妊娠・出産等に関する知識の普及	
施策の目的	保護者が安心して妊娠・出産・子育てができ、子どもが健やかに成長できるようにすることを目的としています。			母子への切れ目ない支援と育児不安の軽減	
				子どもの療育と発達支援	
				経済的支援の充実	
総位置付け	分野	ひと	総合計画	68～69	ページ
	政策	子ども未来政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
乳幼児福祉医療費受給資格の認定率	%	99.2	100	98.5	98.5



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	福祉医療支給事業	子ども支援課	①	543,572	513,586	29,986	3.80
02	児童扶養手当支給事業	子ども支援課	①	1,206,082	1,182,409	23,673	3.00
03	児童手当支給事業	子ども支援課	①	3,442,929	3,420,045	22,884	2.90
04	母子家庭等自立支援事業	子ども支援課	①	41,785	37,839	3,946	0.50
05	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	子ども支援課	①	26,367	22,421	3,946	0.50
06	交通遺児支援事業	子ども支援課	①	2,890	523	2,367	0.30
07	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金	子ども支援課	①	395,143	386,857	8,286	1.05
08	子育て世帯への臨時特別給付事業	子ども支援課	①	3,879,514	3,874,385	5,129	0.65
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	9,538,281	9,438,065	100,216	12.70
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	<p>施策の問題点の整理</p> <p>●子どもや子育て家庭を支えてきた地域社会における子育て機能の低下を受け、妊娠、出産、子育て等の面で市民ニーズが多様化しており、特に多くの市民が子育てに係る経済的負担を感じています。また、児童虐待について、市民の意識の高まりなどから、虐待に係る相談や通告等が増加する傾向があります。</p>
問題解決の方向性	<p>問題点を解決するための方針（手段）</p> <p>●安心して妊娠、出産、子育てができるよう切れ目のない支援を行うとともに、児童虐待の未然防止等の観点から、育児不安の軽減に資する様々な取組を推進します。</p> <p>また、市民の利便性等を考慮した各制度の適切な運用を通じ、子育て家庭への経済的支援の充実を図ります。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	<p>広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性</p> <p>《生活関連機能サービスの向上》</p> <p>●県の事業（保健所等）と重複するものは、従来どおりの対応が適当である等、事業内容によって広域化の可能性は異なると考えますが、「療育環境改善」、「ファミリーサポート」、「病児・病後児保育室の利用」、「幼児教育の充実」等、自治体間における施設・機能の相互利用等を含め検討を進めていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析	
<p>●母子保健の効果的な推進、安心な育児環境の充実に繋げるという趣旨での施策展開においては、母子保健法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し優位である「福祉医療支給事業」を始め、ほぼ大半の取組について、関連法令の趣旨を踏まえたうえで、適切かつ計画的な実施・運用を図っており、その効果の表れであると捉えています。</p>	
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性	
重点化する事業	—
再編・再構築する事業	<p>●「福祉医療支給費」において、令和4年10月から子育て家庭の負担の軽減や市民の利便性向上に加えウィズコロナの視点から、小中学生やひとり親家庭等に対し現物給付を開始するため、スムーズな実施と周知に努めるとともに、少子化対策に資するその他の事業との有効な補強・連携策について、引き続き検討を深めます。</p> <p>●「母子家庭等自立支援事業」など、ひとり親家庭等に対しては、経済的支援をはじめとした各種支援策について、関係機関と連携し、きめ細やかな周知を行いながら、自立に向けた支援を行います。</p>
官民協働の方向性	<p>●産科や小児科などの医療機関や助産師会、民生児童委員、地域の子育て支援の関係団体等は相互に連携することで、妊娠期から切れ目のない包括的なサポート体制で支援を行います。</p>

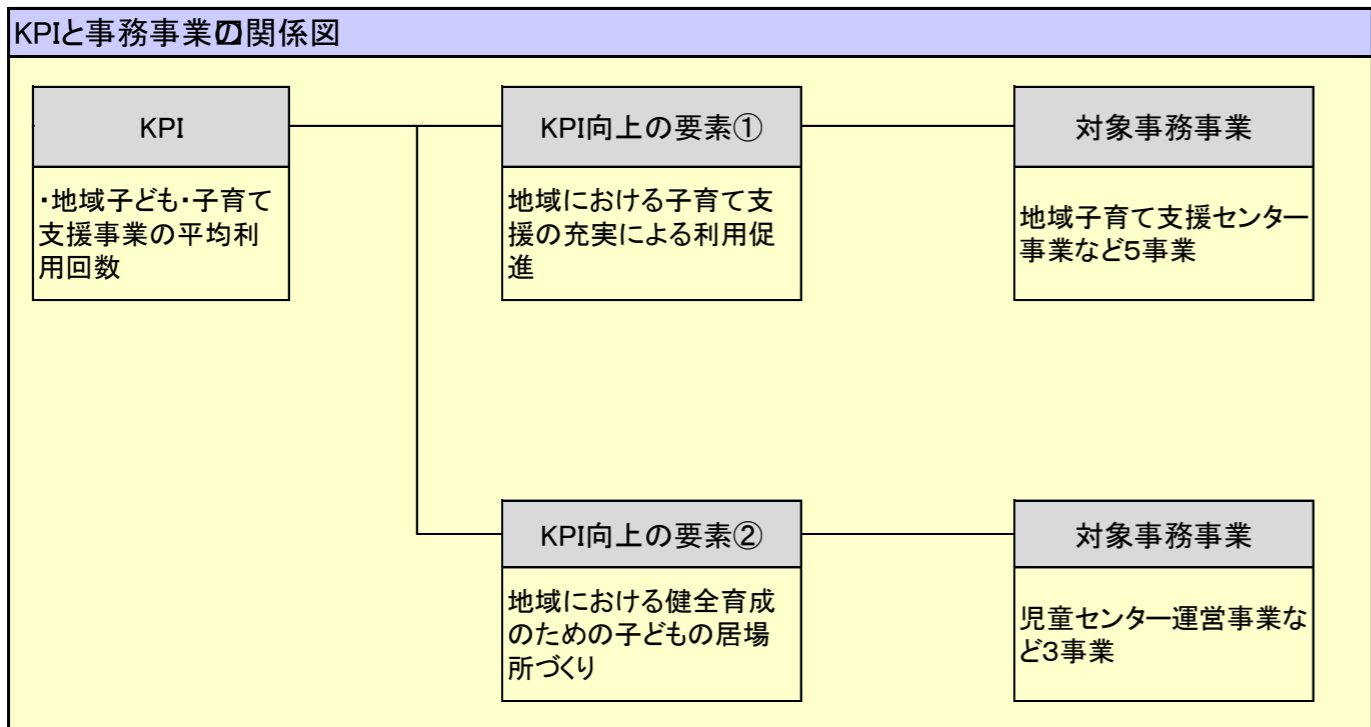
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	子ども未来部	責任者 (部局長名)	竹下 由美
------	--------	---------------	-------

施策名	地域での子どもと子育ての支援		施策の方向性	地域における子育て支援の充実		
				地域における子どもの健全育成		
施策の目的	子育て家庭が、地域で支えられながら楽しく子育てできるようにすることを目的としています。					
総位置付け	分野	ひと				
	政策	子ども未来政策	総計画	70	ページ	

K P I (重要業績評価指標)	単位	総計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
地域子ども・子育て支援事業の平均利用回数	回	37.3	44	24	54.5



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	地域子育て支援センター事業	保育幼稚園課	①	39,173	37,832	1,341	0.17
02	子育て支援啓発事業	保育幼稚園課	①	2,627	1,128	1,499	0.19
03	子育て環境づくり推進事業	保育幼稚園課	①	70,575	27,727	42,848	5.43
04	ファミリーサポートセンター事業	子ども政策課	①	15,637	13,664	1,973	0.25
05	児童福祉週間事業	子ども政策課	①	1,719	141	1,578	0.20
06	児童センター運営事業	子ども政策課	②	136,417	131,288	5,129	0.65
07	児童クラブ事業	子ども政策課	②	697,239	676,328	20,911	2.65
08	名切地区官民連携事業	子ども政策課	②	147,104	143,158	3,946	0.50
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	1,110,492	1,031,266	79,226	10.04
---------	-----------	-----------	--------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●身近な地域に相談できる相手がいないため、助け合う機会も少なくなっていることから、子育て家庭が孤立し、その負担感が増大しています。また、子どもの放課後における生活をめぐっては、核家族化の進展や女性の社会進出等の変化に伴い、その過ごし方が多様化し、居場所について、ニーズの高まりとともに、質の確保も求められています。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●地域における子育て支援の充実を図るとともに、子どもと子育てに関して、地域全体で支え合う環境づくりを推進します。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>《高次の都市機能の集積・強化》</p> <p>●ゲートウェイ機能強化を図り、拠点施設（子ども遊び場）の整備を進めていきます。</p> <p>《生活関連機能サービスの向上》</p> <p>●県の事業（保健所等）と重複するものは、従来どおりの対応が適当である等、事業内容によって広域化の可能性は異なると考えますが、「療育環境改善」、「ファミリーサポート」、「病児・病後児保育室の利用」、「幼児教育の充実」等、自治体間における施設・機能の相互利用等を含め検討を進めていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	D	KPI目標値を達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●地域での子どもと子育ての支援を推進するための施策展開においては、子ども・子育て支援法等の法令に基づき、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し上位に位置する「地域子育て支援センター事業」を始め、ほぼ全事業（細々目）について、関連法令の趣旨を踏まえ、適切かつ計画的な実施・運用を図っております。</p> <p>しかし、令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域子育て支援センター等における活動について制限をかけざるを得ない状況にあったため、利用が伸びない状況となりました。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	—	
再編・再構築する事業	<p>●「地域子育て支援センター事業」について、民間の認定こども園による地域子育て支援事業との量的なバランスを見ながら、必要な調整・見直しを行うとともに、行政保育士の活動等との連携を通じ、質の面での底上げを図ります。</p> <p>●「ファミリーサポートセンター事業」について、公募による運営委託を行いながら、課題と捉えている全市的な視点での普及促進のための対策として、利用状況等の面で低調が見られる周辺地域において、預かりの体験会等を通じ、事業自体の周知を強化するとともに、対人援助の経験がある方に子育て支援に関する講座への参加を促し事業に対する理解を得るよう努めるなど、依頼及び提供の両面に係る会員の掘り起こしを図ります。</p> <p>●「放課後児童健全育成事業」について、令和4年度に実施するニーズ調査をもとに、教育委員会等とも連携しながら今後の整備・運営方針の整理・改善を行います。また、令和3年度から開始した支援員の処遇改善等を人材確保に繋げることで、質の確保を図ります。</p> <p>●「児童センター」の運営に係る事業について、子ども・子育て会議分科会によるあり方提言の内容〔再編・拠点化／ソフト事業への移行研究／施設の利活用〕を踏まえ、今後のあり方に係る具体的な方策等を整理した作業行程表(ロードマップ)を作成し、地域や関係者の意向等を確認しながら、進捗管理を図ります。</p> <p>●子どもの遊び場へのニーズの隙間を埋めるための「中央公園屋内遊び場整備事業」について、「地域子育て支援センター事業」等のほか、政策を支える包括的な事務事業群の「次世代育成推進事業」における市民目線での情報発信等の取組との効果的な連携により、施設の認知度向上及び利用者の増を図ります。</p> <p>●地域での子育て支援に係る全市的な普及啓発を企図する「子育て支援啓発事業」と「児童福祉週間事業」について、政策を支える包括的な事務事業群の「次世代育成推進事業」における地域版子育てアイデア実現化奨励制度の運用や市民目線での情報発信等の取組と効果的な連携を通じ、地域コミュニティにおけるボランティア団体等による子育て支援の広がりを推進するなど、身近な地域での人財育成・活動の実践を図ります。</p>	
官民協働の方向性	<p>●町内会等の地域関係団体及び子どもの育成に関わりのあるボランティア団体、NPO法人などは、身近にいる子どもに関心を持ち、体験学習の機会を提供するなど、子どもを育てる活動を積極的に進め、子育てに係る地域コミュニティの輪を広げるよう努めます。</p>	

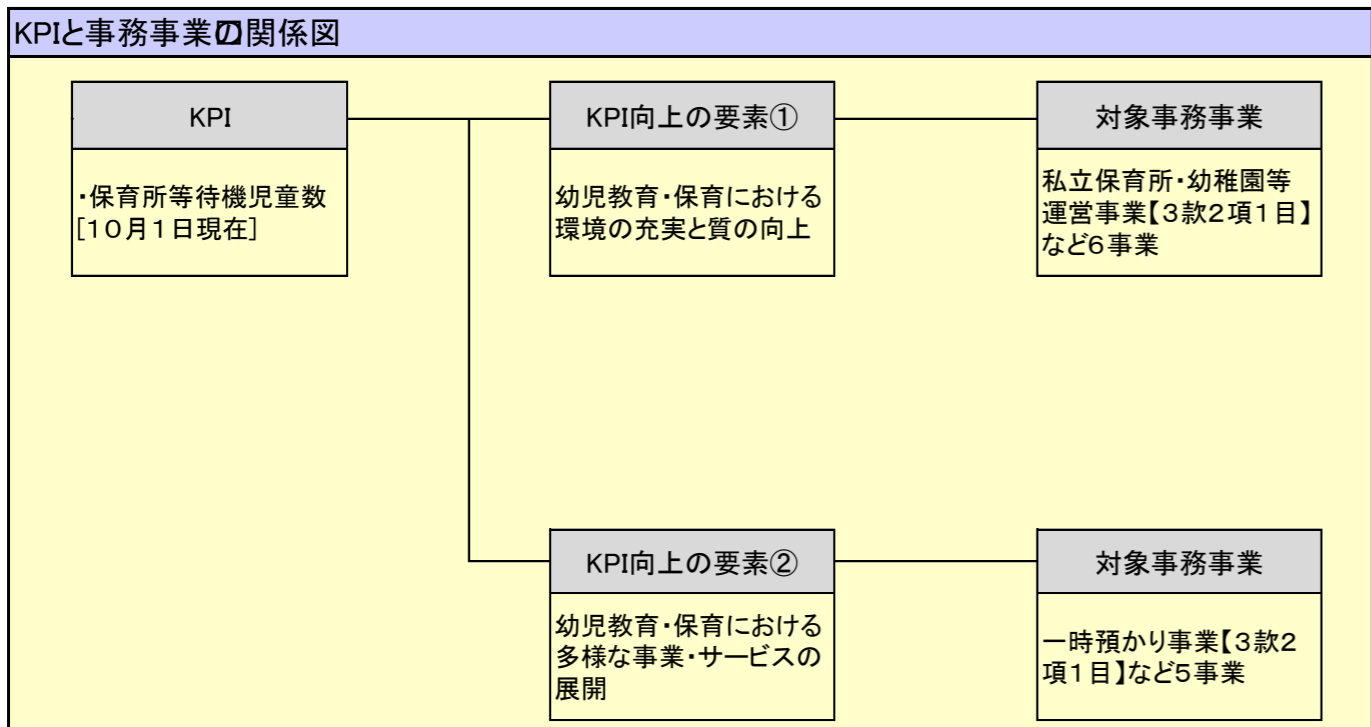
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	子ども未来部	責任者 (部局長名)	竹下 由美
------	--------	---------------	-------

施策名	幼児教育・保育の充実		施策の方向性	幼児教育・保育における量の確保と質の向上		
施策の目的	子どもが充実した幼児教育・保育サービスを受けられ、また、保護者が子育てと仕事を両立できるようにすることを目的としています。			幼児教育・保育における多様な事業・サービスの展開		
総位置付け	分野	ひと				
	政策	子ども未来政策		総合計画	71	ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
保育所等待機児童数〔10月1日現在〕	人	5.0	0	0	100



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	私立保育所・幼稚園等運営事業【3款2項1目】	保育幼稚園課	①	319,898	306,562	13,336	1.69
02	私立保育所・幼稚園等運営事業【3款2項2目】	保育幼稚園課	①	8,460,025	8,422,622	37,403	4.74
03	公立保育所運営事業	保育幼稚園課	①	394,979	181,843	213,136	27.01
04	地域型保育事業	保育幼稚園課	①	43,027	41,528	1,499	0.19
05	保育環境改善事業	保育幼稚園課	①	32,858	31,753	1,105	0.14
06	保育所等監査事業	子ども政策課	①	19,084	3,302	15,782	2.00
07	一時預かり事業【3款2項1目】	保育幼稚園課	②	3,669	2,328	1,341	0.17
08	病児保育事業	保育幼稚園課	②	42,595	41,175	1,420	0.18
09	障がい児保育事業	保育幼稚園課	②	36,394	33,711	2,683	0.34
10	延長保育サービス事業	保育幼稚園課	②	43,664	42,323	1,341	0.17
11	保育所看護師等配置促進事業	保育幼稚園課	②	9,946	7,421	2,525	0.32
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	9,406,140	9,114,568	291,572	36.95
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●保育所等の待機児童について、平成17年度から年度当初には発生していないものの、年度途中において解消するまでには至っていない状況にあります。また、ライフスタイルや就業形態等が多様化する中、幼児教育・保育へのニーズもきめ細やかなものに変化しています。</p> <p>一方、乳幼児期は人格形成の基礎を培う大事な時期であることから、幼児教育・保育において、質の確保が重視される傾向にあります。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●幼児教育・保育における量の確保と質の向上に取り組むとともに、市民ニーズに応じた多様な事業・サービスの展開を図ります。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性</p> <p>《生活関連機能サービスの向上》</p> <p>●県の事業（保健所等）と重複するものは、従来どおりの対応が適当である等、事業内容によって広域化の可能性は異なると考えますが、「療育環境改善」、「ファミリーサポート」、「病児・病後児保育室の利用」、「幼児教育の充実」等、自治体間における施設・機能の相互利用等を含め検討を進めていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	A	KPI目標値を達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用が求められており、このような趣旨を踏まえ、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し上位に位置する「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全事業（細々目）について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用が求められます。</p> <p>ソフト面では、「保育士確保緊急対策事業」について、必要に応じ、適時要件の見直しを行うとともに、ハード面では、「保育所施設整備事業」等について、子ども・子育て会議分科会での意見等を参考に整理した「保育所等施設整備指針」を踏まえたうえで、財源面での事業費の平準化等も考慮しつつ、年次ごとのローリングを通じた重点的かつ計画的な対応を図ります。</p> <p>また、令和3年度から開始した保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等を人材確保に繋げることで、質の確保を図ります。</p>	
再編・再構築する事業	<p>●「私立保育所看護師等配置促進事業」について、乳児担当の看護師または保健師の配置促進にあたり、年次的に事業内容の見直し等を進めながら、医療的ケア児も含め障がい児保育等における量及び質の両面での拡充を図ります。</p>	
官民協働の方向性	<p>●幼児教育・保育を行う施設等は、需要に対する供給量の確保や幅広いニーズに対応するなど、利用する市民の立場を考慮したきめ細やかな支援を行います。特に、幼児教育・保育における質の向上のための取組については積極的に推進します。</p>	

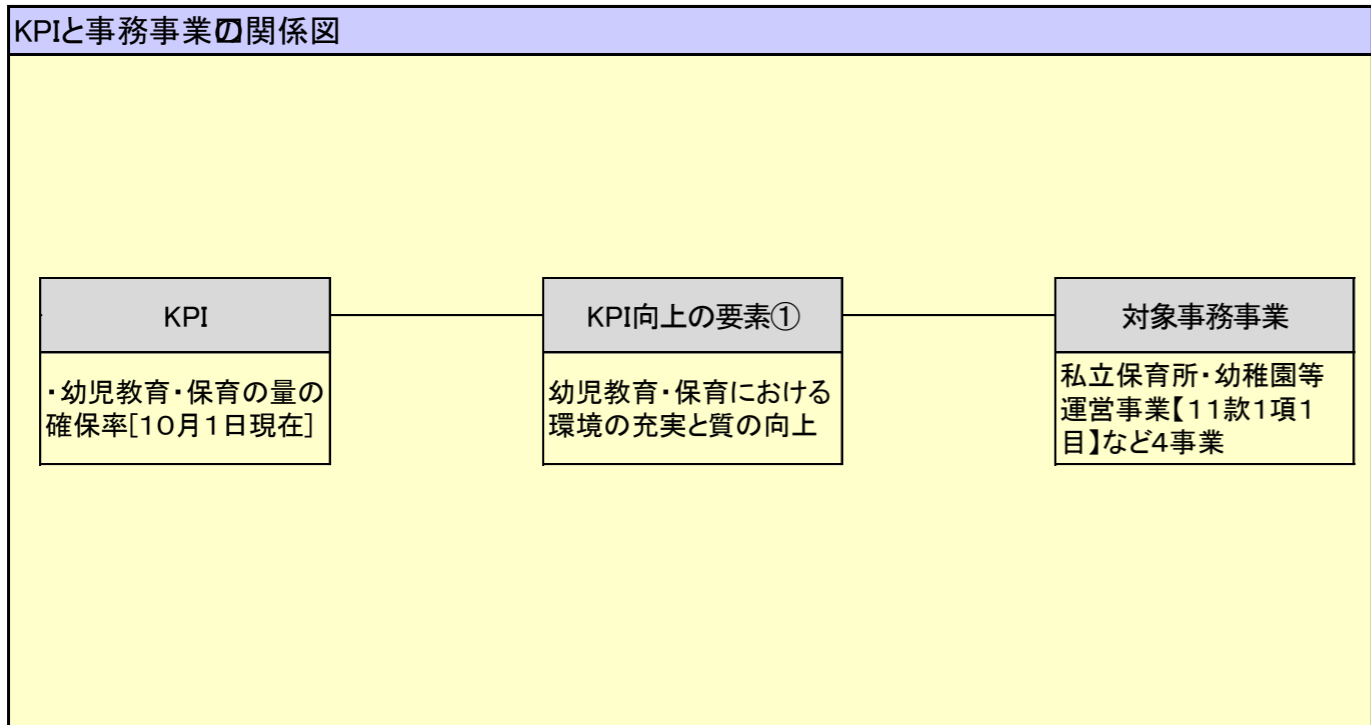
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	子ども未来部	責任者 (部局長名)	竹下 由美
------	--------	---------------	-------

施策名	幼児教育・保育の充実		施策の方向性	幼児教育・保育における量の確保と質の向上
施策の目的	子どもが充実した幼児教育・保育サービスを受けられ、また、保護者が子育てと仕事を両立できるようにすることを目的としています。			幼児教育・保育における多様な事業・サービスの展開
総位置付け	分野	ひと		
	政策	子ども未来政策		総合計画 71 ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
幼児教育・保育の量の確保率〔10月1日現在〕	%	100.7	100.0	96.3	96.3



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	私立保育所・幼稚園等運営事業【11款1項1目】	保育幼稚園課	①	1,948,441	1,926,662	21,779	2.76
02	一時預かり事業【11款1項1目】	保育幼稚園課	①	64,581	63,240	1,341	0.17
03	公立幼稚園管理運営事業	保育幼稚園課	①	113,644	45,150	68,494	8.68
04	幼児教育センター管理運営事業	保育幼稚園課	①	58,611	15,289	43,322	5.49
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	2,185,277	2,050,341	134,936	17.10
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●保育所等の待機児童について、平成17年度から年度当初には発生していないものの、年度途中において解消するまでには至っていない状況にあります。また、ライフスタイルや就業形態等が多様化する中、幼児教育・保育へのニーズもきめ細やかなものに変化しています。</p> <p>一方、乳幼児期は人格形成の基礎を培う大事な時期であることから、幼児教育・保育において、質の確保が重視される傾向にあります。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●幼児教育・保育における量の確保と質の向上に取り組むとともに、市民ニーズに応じた多様な事業・サービスの展開を図ります。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性</p> <p>《生活関連機能サービスの向上》</p> <p>●県の事業（保健所等）と重複するものは、従来どおりの対応が適当である等、事業内容によって広域化の可能性は異なると考えますが、「療育環境改善」、「ファミリーサポート」、「病児・病後児保育室の利用」、「幼児教育の充実」等、自治体間における施設・機能の相互利用等を含め検討を進めていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用が求められており、このような趣旨を踏まえ、KPI向上に広範かつ直接的に寄与し上位に位置する「私立保育所等運営費」や「私立幼稚園等運営費」を始め、ほぼ全事業（細々目）について、児童福祉法や子ども・子育て支援法等の法令に基づき、適切かつ計画的な実施・運用を図ってきていることから、その効果の表れであると捉えています。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>●「佐世保市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度から6年度)における教育・保育の量に係る需給については、既存施設の範囲で一定のバランスが保たれているものと整理していますが、地域的な量の見込みと確保方策のバランス等といった事象にあたっては、教育・保育環境の整備におけるソフト及びハード両面での対応を視野に入れながら、適切かつ柔軟な運用が求められます。</p> <p>ソフト面では、「保育士確保緊急対策事業」について、必要に応じ、適時要件の見直しを行うとともに、ハード面では、「保育所施設整備事業」等について、子ども・子育て会議分科会での意見等を参考に整理した「保育所等施設整備指針」を踏まえ、財源面での事業費の平準化等も考慮しつつ、年次ごとのローリングを通じた重点的かつ計画的な対応を図ります。</p> <p>また、令和3年度から開始した保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等を人材確保に繋げることで、質の確保を図ります。</p>	
再編・再構築する事業	—	
官民協働の方向性	<p>●幼児教育・保育を行う施設等は、需要に対する供給量の確保や幅広いニーズに対応するなど、利用する市民の立場を考慮したきめ細やかな支援を行います。特に、幼児教育・保育における質の向上のための取組については積極的に推進します。</p>	

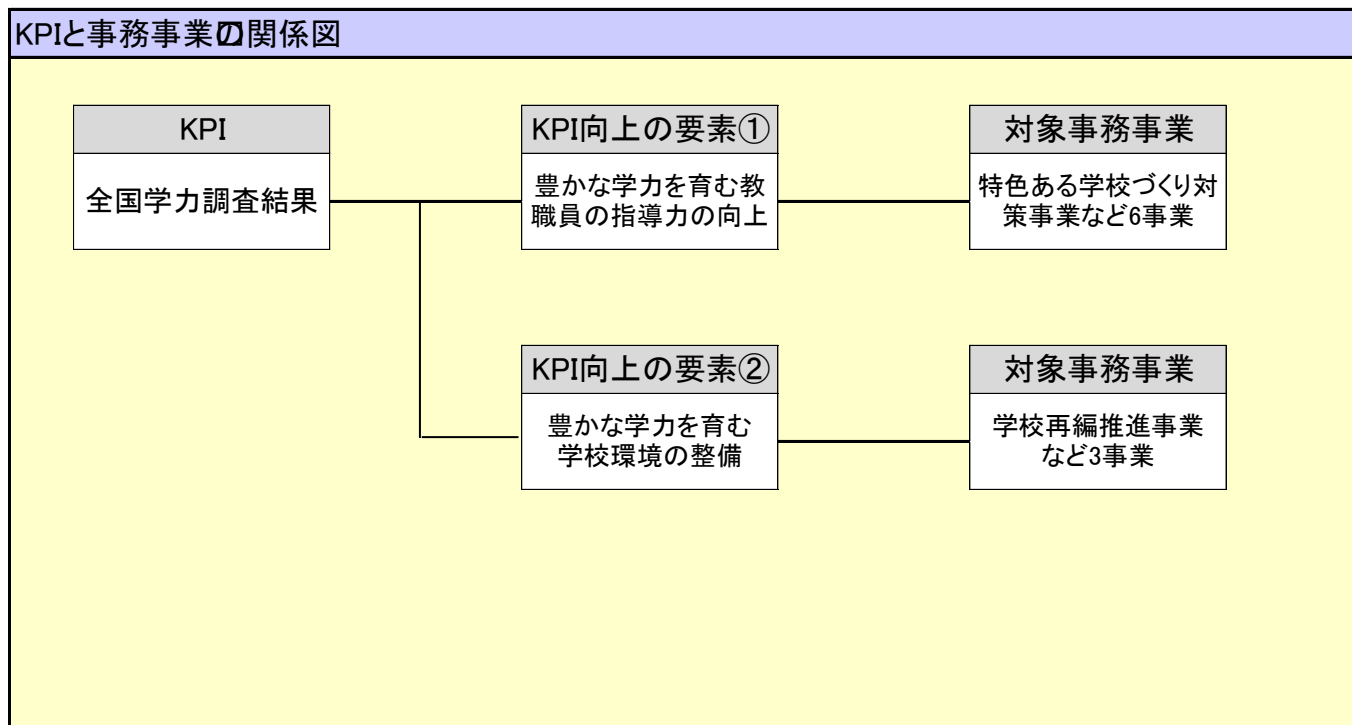
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部 学校教育部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩 陣内 康昭
------	----------------	---------------	----------------

施策名	学校教育の充実			施 策 の 方 向 性	確かな学力及び体力の向上
施策の目的	児童・生徒が、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、変化の激しいこれからの社会を主体的・創造的に生き抜くことができるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を図ることを目的としています。				豊かな心をはぐくむ教育の充実
					新しい時代に求められる資質・能力の育成
					時代の変化に合った新しい学校の創造
総位 合置 計付 画け	分野	ひと			
	政策	教育政策		総合計画	74~75 ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当 初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
全国学力調査結果	%	95.0%	98.0%	94.20%	96.1%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝 番 号	事 務 事 業 名	担当課名	KPI向上の要素	事 業 費 等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費(千円)	人件費(千円)	人工(人)
01	特色ある学校づくり対策事業	学校教育課	①	35,263	31,160	4,103	0.52
02	教職員資質向上事業	学校教育課	①	154,494	123,640	30,854	3.91
03	基礎学力・学習意欲向上推進事業	学校教育課 少年科学館	①	171,675	128,117	43,558	5.52
04	国際理解・交流能力育成事業	学校教育課	①	66,553	58,820	7,733	0.98
05	障がい児教育推進事業	学校教育課	①	129,405	103,759	25,646	3.25
06	教育センター事業	教育センター	①	113,440	50,312	63,128	8.00
07	学校再編推進事業	新しい学校推進室	②	18,365	2,583	15,782	2.00
08	小学校施設整備事業	教育施設課	②	1,571,443	1,555,661	15,782	2.00
09	中学校施設整備事業	教育施設課	②	230,352	214,570	15,782	2.00
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	2,490,990	2,268,622	222,368	28.18
---------	-----------	-----------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

問題点の整理	施策の問題点の整理	KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
	●これからの時代を生き抜く力、次代を切り開く力の育成に向けた教育の質の向上、また、教育と地域を含めた社会との連携強化による個人と社会の不断の成長が課題です。	KPI達成状況の分析		
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）	●令和3年度は、目標値に対して3.8ポイント届いていません。 ●平成29年度から令和3年度までの4名の学力向上専任指導を配置し、市立全小・中学校を110回訪問し、具体的な授業の在り方等の学力向上の取組を指導したところ、特に小学校算数科、中学校数学科において伸びが見られてきています。この伸びを確かなものとするために、今後も、全市的な教師の授業改善への意識の向上や指導技術向上のための支援指導の継続が必要と考えています。 ●教職員の大量退職時代を迎え、学校教育の充実を維持・伸長、児童生徒の学力を保障するためには、校長の組織マネジメントと教職員の資質向上は喫緊の課題です。		
	●よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を共有し、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を推進します。	施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性	重点化する事業	【特色ある学校学校づくり対策事業、教職員資質向上事業】 ●スマート・スクール・SASEBO構想を核とした個別最適な学びと協働的な学びの実現を実現するため、学校におけるICT活用の目的や理念の共有、教職員の意識改革、ICTの実践力を高める取組の充実を図ります。また、※MEXCBT等の活用やデジタル環境の一層の整備を進め、オンラインを活用した学びの促進を図ります。併せて、市立小中学校4校を研究校に指定し、ICTを活用した授業や家庭学習の在り方に関する先進実践を進めることで、市内学校への情報共有を図り、ICTを活用した学びの充実を促進します。 ※MEXT:文部科学省の英語名称「Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology」 ※CBT:「Computer Based Testing」の略称で、コンピュータを用いて試験を行うシステム 【国際理解・交流能力育成事情】 ●「英語が話せるまちSASEBO」プロジェクトの取組の一環として、活用的・実践的な英語教育の実現を図る目的で実施しているイングリッシュキャンプ（小学生・中学生・中学生希望者）について、その効果等を検証し、実施方法の更なる充実を図ることで、児童生徒の英語活用力の向上に努めます。 【教育センター事業】 ●すべての教職員が、教育DXに関する意識とICT活用技能を向上させるため、民間企業と連携し研修の充実を一層図ります。 【学校再編推進事業】 ●「佐世保市学校再編計画（案）」を指針としながら、保護者や地域の方々とは丁寧な議論を行い、各学校のより良い教育環境の整備を図ります。 【小学校・中学校施設整備事業】 ●学校施設の老朽化対策や外壁落下防止工事等を行い、児童生徒及び学校関係者の安全安心な環境整備に努め、更なる教育環境の向上に取り	
	●各学校が地域特性（地域・子どもの実態）に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につながっていきます。	再編・再構築する事業	【教職員資質向上事業、基礎学力・学習意欲向上推進事業】 ●令和4年度から2名の専任指導員体制をとり、児童生徒の「学力・学習状況」の向上を図るため、管理職の組織マネジメント力及び教員の授業改善に向けた指導力を広げる拠点校方式を新たに構築し、各学校の主体的な取組、実践の深化を図ります。 ●令和4年度からスタートした新たな3学期制を基盤とした取組の成果現状分析に取り組み、創意工夫ある教育の更なる実践化を図ります。 【障害児教育推進事業】 ●通級指導教室での指導を要する困り感を持った児童生徒の増加への対応として、小学校での自校通級を可能にする通級指導教室の分散計画、中学校の通級指導教室担当教諭による巡回指導計画など、通級指導教室のあり方の見直しを行います。	
		官民協働の方向性	【教職員資質向上事業】 ●スマート・スクール・SASEBO構想における基盤整備強化として、Google for educationパートナー自治体に参画するとともに、先進実践校が認定を受けることによって、質の高い教育の実現に資する支援体制強化を図ります。	

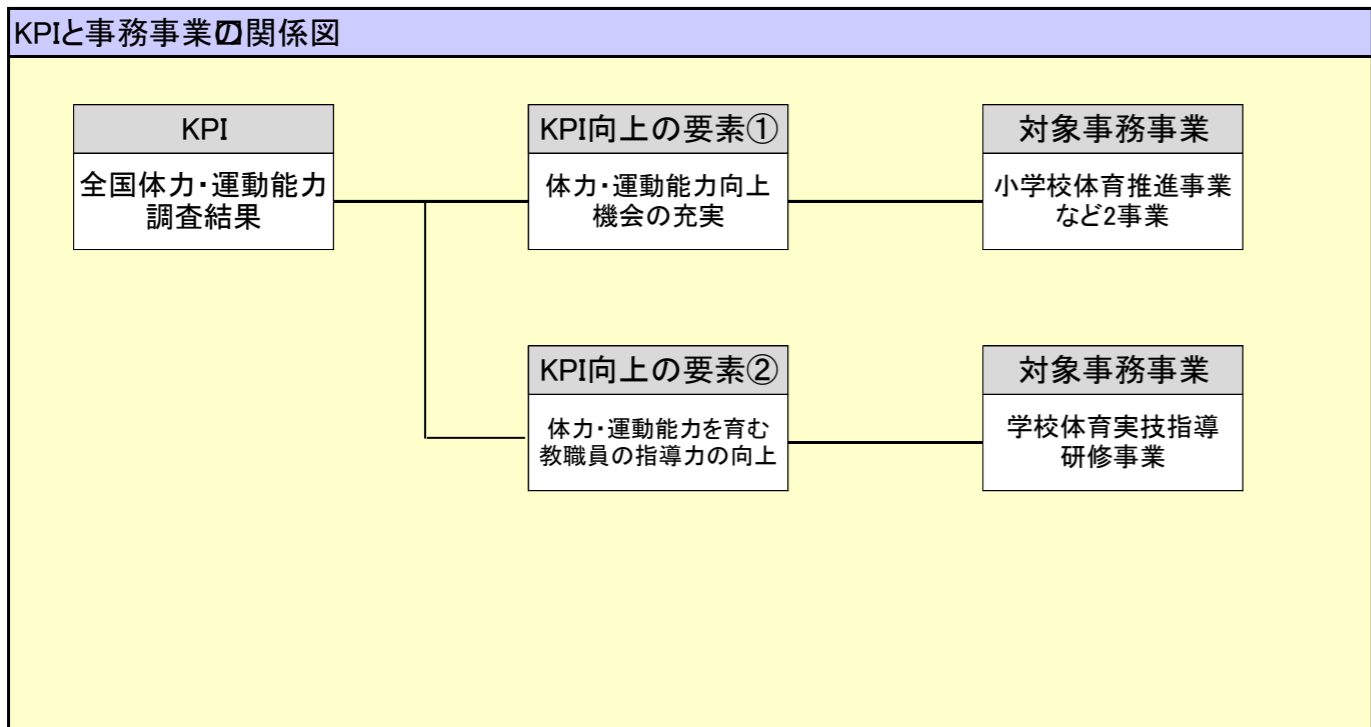
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	学校教育部	責任者 (部局長名)	陣内 康昭
------	-------	---------------	-------

施策名	学校教育の充実		施策 の 方 向 性	確かな学力及び体力の向上	
施策の目的	児童・生徒が、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、変化の激しいこれからの社会を主体的・創造的に生き抜くことができるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を図ることを目的としています。			豊かな心を育む教育の充実	
				新しい時代に求められる資質・能力の育成	
				時代の変化に合った新しい学校の創造	
総位置 計付 画	分野	ひと	総合計画	74~75	ページ
	政策	教育政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当 初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
全国体力・運動能力調査結果	%	98.3	99.2	97.3	98.1



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝 番 号	事 務 事 業 名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	小学校体育推進事業	学校保健課	①	4,676	20	4,656	0.59
02	中学校体育推進事業	学校保健課	①	42,610	37,954	4,656	0.59
03	学校体育実技指導研修事業	学校保健課	②	184	26	158	0.02
04				-		-	
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	47,469	38,000	9,469	1.20
---------	--------	--------	-------	------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●これからの時代を生きる力、次代を切り開く力の育成に向けた教育の質の向上、また、教育と地域を含めた社会との連携強化による個人と社会の不断の成長が課題です。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を共有し、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を推進します。</p>
西九州させば広域都市圏における方向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●各学校が地域特性（地域・子どもの実態）に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につながっていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
<p>●令和3年度は、目標値に対して1.9ポイント届いていません。 ●全国や県と同様に体力は大きく低下していますが、令和2年度が未実施のためにデータがないので、コロナ禍の影響によるものかどうかは次年度の結果を見ながら、継続して検証する必要があります。中学生の結果については、小学5年生の時期と比較し、経年評価することも必要です。 ●柔軟性（長座体前屈）の数値の改善が、体力合計点を向上させることにつながります。（各学年において寄与度が高い）各学校が策定する「体力向上アクションプラン」のなかで、具体的な取組を定め、年間を通じて実践することや、長崎県が推進する「ジャックナイフストレッチ」を、体育の授業の中で確実に実践していくことを、各小・中学校に求めています。 ●「運動やスポーツが好き」と「運動習慣」及び「体力合計点」には相関関係があることから、令和3年度に作成した「佐世保市の義務教育9年間におけるスポーツ推進のための基本方針」に基づき、まずは運動やスポーツ好きな児童を増やす取組を行います。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>【中学校運動部活動外部指導者補助金】 【中学校課外体育活動等補助金】</p> <p>●運動部活動において、地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築や、地域人材に対する研修、平日と休日の一貫指導のための連携、協力体制の構築など、本市のモデルづくりを見据え、県内外の先進的な事例を研究します。</p> <p>【小学校体育学習サポーター派遣事業】</p> <p>●令和3年度に「小学校体育大会」の見直しを行い、新規事業として、小学校体育の授業に地域の外部指導者（サポーター）を派遣する本事業を創設しました。専門的な知識や技能を持った指導者と協力しながら授業を進めることで、学習指導要領に基づいた体育授業の充実と、教員の資質向上を目指します。</p> <p>【学校体育実技指導者研修事業】</p> <p>●体育学習専門の講師による、体育・スポーツに対する学習指導及び実技指導に加え、「からだを動かすことは楽しい」ということを体感できる授業づくりや指導方法の研修会を行い、より一層の充実を目指します。</p> <p>【佐世保市中学校体育大会】</p> <p>●小中9年間の体力向上の集大成の場として、さらなる大会の充実・発展を目指します。</p>	
再編・再構築する事業		
官民協働の方向性		

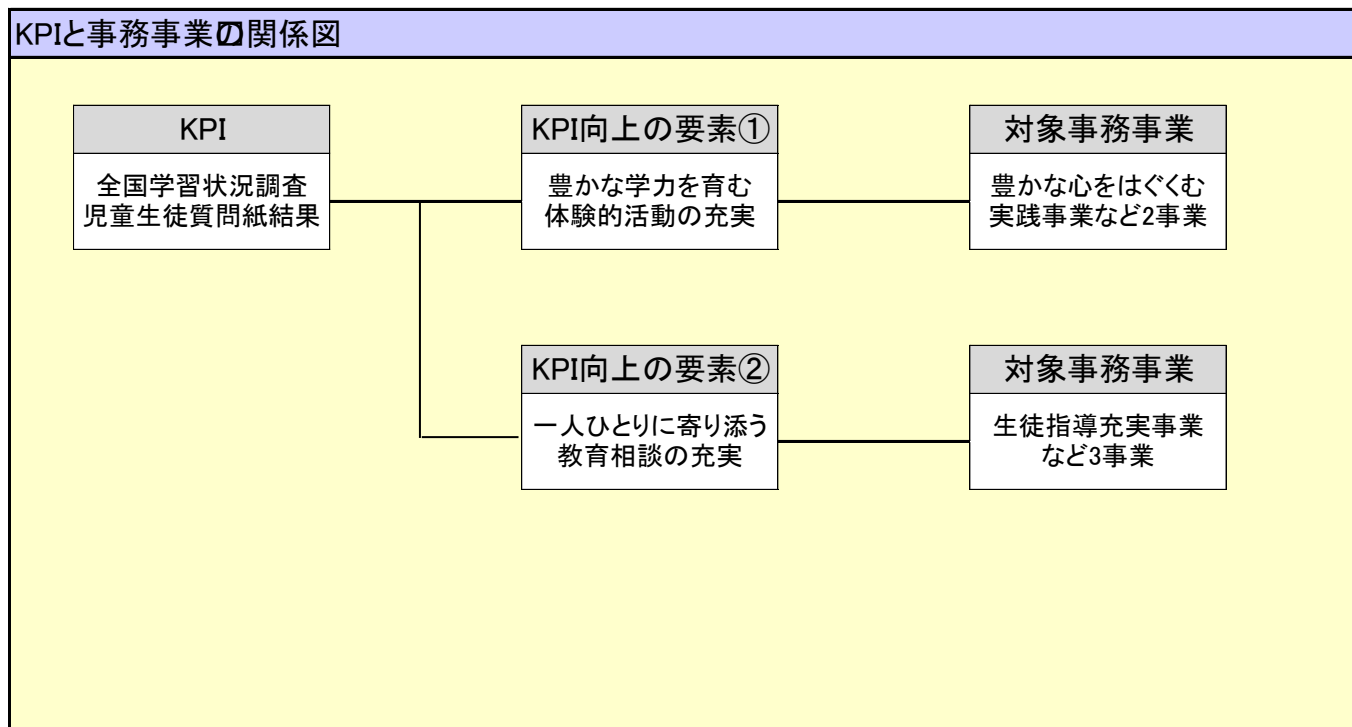
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	学校教育部	責任者 (部局長名)	陣内 康昭
------	-------	---------------	-------

施策名	学校教育の充実			施 策 の 方 向 性
施策の目的	児童・生徒が、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけ、変化の激しいこれからの社会を主体的・創造的に生き抜くことができるよう、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を図ることを目的としています。			
総位 合置 計付 画け	分野	ひと		
	政策	教育政策		
		総合計画	74~75	ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当 初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
全国学習状況調査児童生徒質問紙結果	%	100.4%	101.3%	100.70%	99.4%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝 番 号	事 務 事 業 名	担当課名	KPI向上の要素	事 業 費 等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費(千円)	人件費(千円)	人工(人)
01	豊かな心をはぐくむ実践事業	学校教育課	①	4,099	1,022	3,077	0.39
02	体験学習・環境教育充実事業	学校教育課	①	9,160	4,583	4,577	0.58
03	生徒指導充実事業	学校教育課	②	26,016	14,337	11,679	1.48
04	人権教育推進事業	学校教育課	②	2,448	160	2,288	0.29
05	教育相談活動事業	青少年教育センター	②	59,304	40,918	18,386	2.33
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	
事業費等の合計				101,027	61,020	40,007	5.07

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

	施策の問題点の整理
問題点の整理	●これからの時代を生き抜く力、次代を切り開く力の育成に向けた教育の質の向上、また、教育と地域を含めた社会との連携強化による個人と社会の不断の成長が課題です。
	問題点を解決するための方針（手段）
問題解決の方向性	●よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を共有し、学校・家庭・地域が一体となった教育の充実を推進します。
	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
西九州さ せぼ広域 都市圏に おける方 向性	●各学校が地域特性（地域・子どもの実態）に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につなげていきます。

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80%～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60%～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	B	KPI目標値を概ね達成できた
KPI達成状況の分析		
●令和3年度は、目標値に対して0.6ポイント届いていません。また、児童生徒の不登校者数は、全国同様に本市においても増加傾向となっており、複雑化している児童生徒の困り感やニーズへの対応が喫緊の課題となっています。		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【生徒指導充実事業】 ●生徒指導の専門的な知見を有したスクールカウンセラー等の専門職員の活用の充実に努め、多様化・複雑化する児童生徒が抱える課題を支援します。 【体験学習・環境教育充実事業】 ●児童生徒の豊かな心の醸成とふるさと佐世保を愛する心を育むことを目的として、ふるさと佐世保の自然や文化、歴史を学ぶ感動体験学習の充実を図ります。具体的には、小学校4年生に九十九島の自然及び少年科学館での学習、中学校1年生に佐世保の歴史遺産を見学させる体験学習において、各学校での学習の振り返り方法の工夫改善を図り、児童生徒の学びの深化を図ります。 【教育相談活動事業】 ●年々増加・多様化する困り感をもつ児童生徒やその保護者、教職員からの相談に対して、きめ細やかな支援を提供できる体制整備を進めます。 ●通級に心的ストレスを伴う不登校児童生徒の居場所づくりを図るため、サテライトあすなろ教室を拡充し対応します。	
再編・再構築する事業	【豊かな心をはぐくむ実践事業】 ●教育委員会及び市立小中学校等全70校において6月の1か月間を「いのちを見つめる強調月間」と設定し、児童生徒の心を育てる様々な取組を実践しています。その一環として教育委員会が主催する「いのちを見つめる講演会」を一層充実したものにすため、児童生徒の参加を増やす手立てを講じ、「生きる力」、「いのち」についてより広く深く考える機会とします。	
官民協働の方向性		

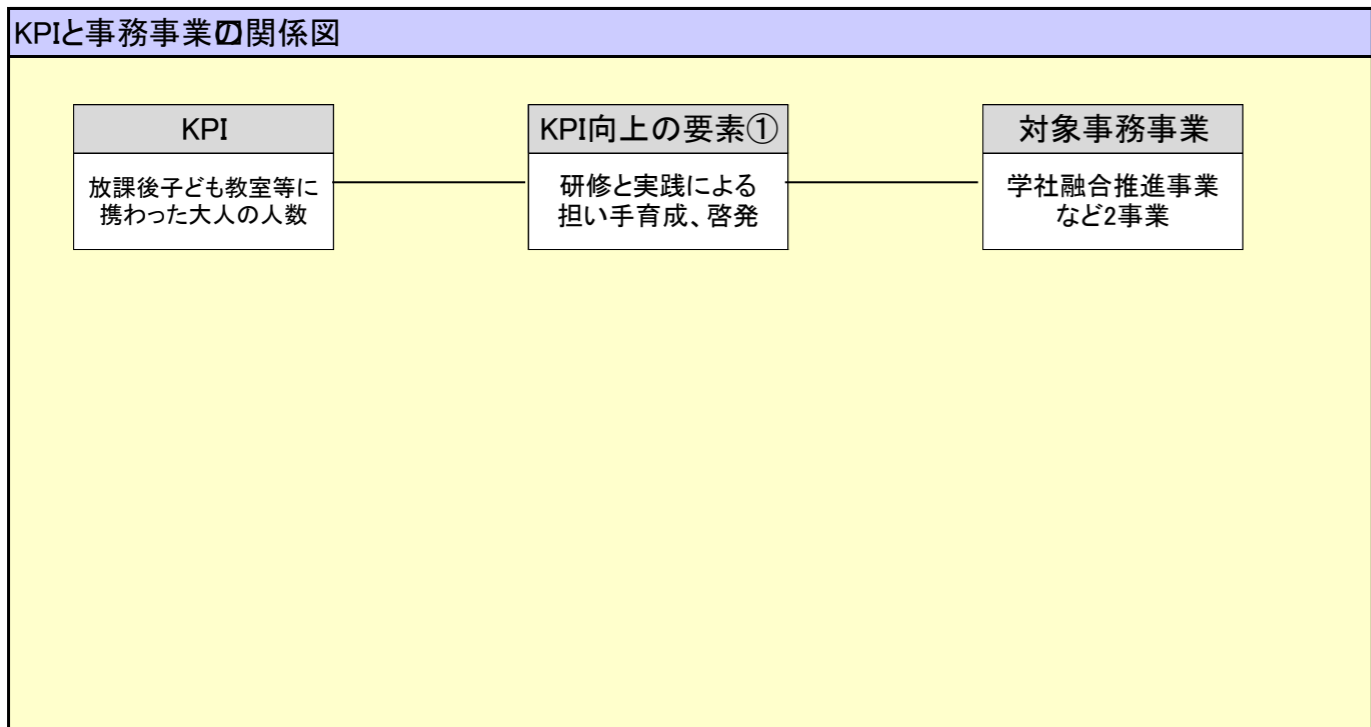
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩
------	-------	---------------	-------

施策名	豊かな心を育むまちづくり	施策の方向性	学校・地域・家庭・行政の連携促進
施策の目的	学校・地域・家庭が一体となって、市民一人ひとりが社会に対して主体性を持ち、思いやりのある活動(行動)ができる意識の醸成を進めることが目的です。		青少年の健全育成
総位置	分野 ひと		
計付画	政策 教育施策		総合計画 76~77 ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
放課後子ども教室等に携わった大人の人数	人	23,018	24,000	6,279	26.2%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	学社融合推進事業	社会教育課	①	14,470	8,552	5,918	0.75
02	家庭教育推進事業	社会教育課	①	4,388	285	4,103	0.52
03				-		-	
04				-		-	
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	18,859	8,837	10,022	1.27
---------	--------	-------	--------	------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	●核家族化や少子高齢化、高度情報化等により、子どもを取り巻く環境が変化している中で、他者への関心の低下等から、子どもを健やかに育む地域の連携・支援等が希薄化（弱体化）しています。
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	●学校・家庭・地域が連携し社会全体で、豊かな心や人間性と社会性を育む地域の教育力を高め、青少年の健全育成活動や体験学習活動等を推進します。
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	●各学校が地域特性（地域・子どもの実態）に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につなげていきます。

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	D	KPI目標値を達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●目標値に対し、26.2%と大きく下回りました。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大により、不要不急の外出自粛や学校休校などの影響を受け、事業自粛が増えたため目標値に大きく届きませんでした。しかしながら、事業に関わる人材の掘り起こしのため、市内大学への協力要請や各種研修を通じ参画意欲の醸成を図ることにより担い手不足解消の取り組みを行いました。</p> <p>●子育て講座などの実施においては、感染症対策を講じたうえで講座を複数回に分散したり、ウェブ会議サービスを活用した非接触型での講座の実施を模索するなど、主催者及び講師と開催に向けた協議・検討を行いました。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>【学社融合推進事業】</p> <p>●子どもたちを地域で見守り、心豊かに育むため、学校・家庭・地域が連携・協働し、安全で豊かな放課後の時間を実現するための放課後子どもプランの充実に努めます。</p> <p>●より多くの子どもや地域住民に参画してもらうため、また、担い手不足の解消に向けて、チラシ、ホームページなどのSNSを活用した情報発信を行い、放課後子ども教室や地域未来塾など、地域学校協働活動の啓発に取り組みます。</p> <p>●関係者への研修・支援等を行うことにより、子どもたちを健やかに育む地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>●地域の教育力を活用し、子どもたちの基礎学力の向上と学習習慣の定着化、社会性や規範意識、コミュニケーション能力の向上を図るための学習支援である地域未来塾について、他地区での展開が可能となるような方策についても検討を進めます。</p> <p>●佐世保市としての教育コミュニティづくり（コミュニティスクール+地域学校協働活動本部）の全市展開に向け、重点的に取り組みます。</p> <p>【家庭教育推進事業】</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い在宅時間が増加し、家庭教育がより重要になってきています。コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した効果的な家庭教育支援の取り組みを行っていくため、メディア安全指導員によるメディア講座や長崎ファミリープログラムを活用した家庭教育講座など、より効果的に利用してもらえるよう周知・啓発に努めます。</p>	
再編・再構築する事業		
官民協働の方向性	<p>【学社融合推進事業】</p> <p>●引き続き放課後子ども教室関係者と協働して、地域の特性に応じた活動を展開し、子どもたちに豊かな体験・交流の機会と場を提供することを目指します。</p> <p>●引き続き佐世保市教育会をはじめとした未来塾関係者と協働して、教職員OBや学生等の地域教育力を活用し、子どもたちの学習支援やコミュニケーション能力の向上を目指します。</p> <p>【家庭教育推進事業】</p> <p>●市PTA連合会との共催事業等について、引き続き、ニーズに合った内容となるよう、連携しながら実施していきます。</p> <p>●メディア安全指導員やファミリープログラムファシリテーターと情報交換を行いながら、より活動しやすい体制づくりに努めます。</p>	

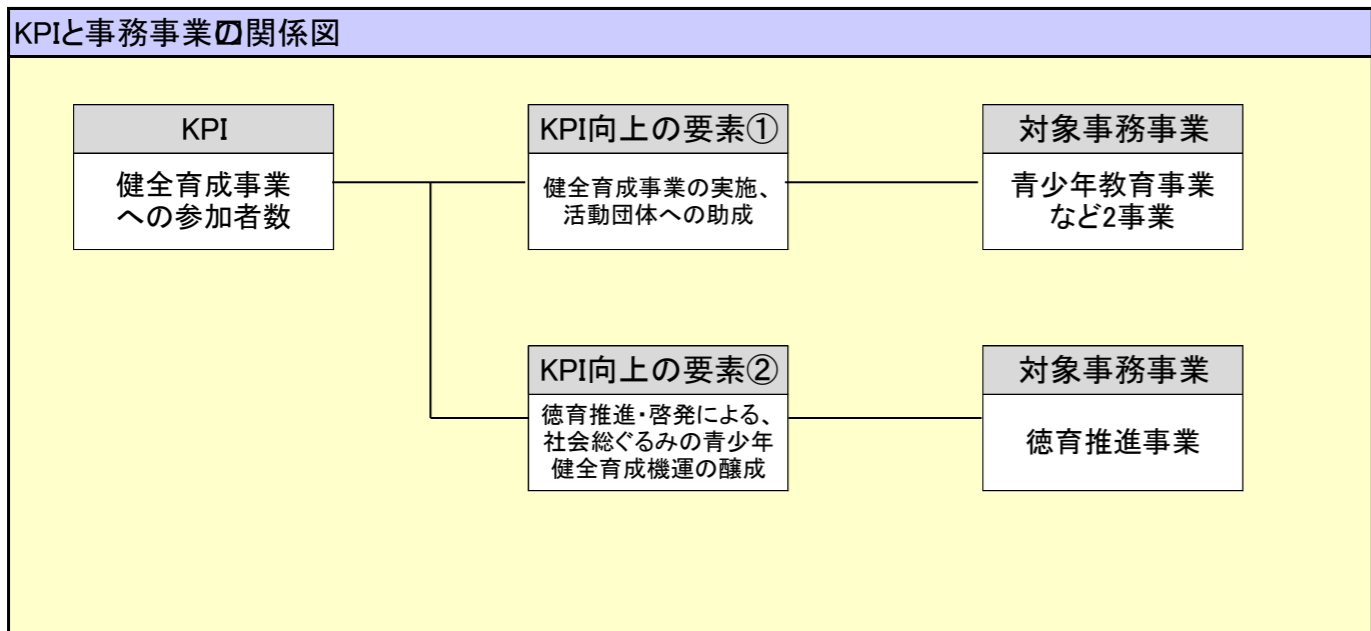
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部 学校教育部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩 陣内 康昭
------	----------------	---------------	----------------

施策名	豊かな心を育むまちづくり	施策の方向性	学校・地域・家庭・行政の連携促進
施策の目的	学校・地域・家庭が一体となって、市民一人ひとりが社会に対して主体性を持ち、思いやりのある活動(行動)ができる意識の醸成を進めることが目的です。		青少年の健全育成
総位置付け	分野 ひと		
政策	教育施策		
		総合計画	76~77 ページ

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
健全育成事業への参加者数	人	24,955	26,500	8,782	33.1%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	青少年教育事業	社会教育課	①	7,819	2,216	5,603	0.71
02	青少年非行防止推進事業	青少年教育センター	①	34,694	13,625	21,069	2.67
03	徳育推進事業	社会教育課	②	12,107	6,110	5,997	0.76
04				-		-	
05				-		-	
06				-		-	
07				-		-	
08				-		-	
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
事業費等の合計				54,620	21,951	32,669	4.14

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	●核家族化や少子高齢化、高度情報化等により、子どもを取り巻く環境が変化している中で、他者への関心の低下等から、子どもを健やかに育む地域の連携・支援等が希薄化（弱体化）しています。
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	●学校・家庭・地域が連携し社会全体で、豊かな心や人間性と社会性を育む地域の教育力を高め、青少年の健全育成活動や体験学習活動等を推進します。
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	●各学校が地域特性（地域・子どもの実態）に応じて学校経営を行うことが最適です。ただし、教職員が共通の研修を受講することにより情報共有や指導技術等を錬磨することができ、教職員の資質向上につなげていきます。

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	D	KPI目標値を達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<ul style="list-style-type: none"> ●目標値に対し、33.1%と大きく下回りました。 ●新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、各地区育成会の事業実施が困難な状況となり参加者数が減少しました。しかしながら、感染症対策を講じ佐世保市青少年育成連盟の会議を継続し開催するなど、コロナ禍における健全育成活動の今後について協議・情報交換を行いました。 ●広い世代への周知する目的で開始した「まちなか徳育標語コンクール」の応募総数が、実施方法の変更等により令和元年度から半減したことから、周知方法が課題となっています。しかしながら、徳育推進フォーラムの開催については、無観客で実施した内容を動画配信サービス（YouTube）で公開するなどKPIに寄与する新たな取り組みを行いました。 		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【青少年教育事業】	●より活動しやすい体制づくりを進める上での「地区自治協議会と各地区育成会との合流」や「コロナ禍における活動活性化」などの課題について、青少年育成連盟との協議・連携を深めます。
	【青少年非行防止推進事業】	●青少年教育センターの青少年非行対策に関する機能の見直し及び子育て機関とも連携した幅広い教育支援機能の充実を、関係機関・関係団体等との協議を重ね、改善を進めていきます。
再編・再構築する事業	【徳育推進事業】	●青少年教育センターへ通級する児童生徒や来庁者の方の安全確保を急ぐため、早急に対応します。
	【徳育推進事業】	●全市的に配布している徳育推進カレンダーについては、市民が親しみやすい佐世保市の風景を採用するなどデザイン刷新することにより、「徳育」の周知を図る重要な広報媒体として、効果的に活用していきます。
官民協働の方向性	【青少年非行防止推進事業】	●これまでの取組に加え、ネットパトロールを実施することにより、ネットトラブルの早期発見・未然防止等に努めていきます。
	【徳育推進事業】	●青少年教育センターの新たな機能への転換を踏まえ、移転建替を検討します。
官民協働の方向性	【徳育推進事業】	●非行防止対策について、現状に即した施策にシフトするため、今後の在り方を研究していきます。
	【徳育推進事業】	●広報啓発の新たな手法として、映像（YouTube・DVD等）による効果的な情報配信を検討します。
官民協働の方向性	【青少年教育事業】	●地域組織である各地区育成会等との連携は、青少年育成連盟を通じ、幅広く全市的な取り組みを目的としており、今後も継続して共催事業を実施していきます。
	【徳育推進事業】	●官民協働のパートナーである「佐世保徳育推進会議」と協働して、多様な団体と啓発活動等を行います。その中で、推進会議のさらなる活性化、市民一人ひとりの意識や行動変化への働きかけ方について、推進会議とともに効果的な手法について研究を進めていきます。

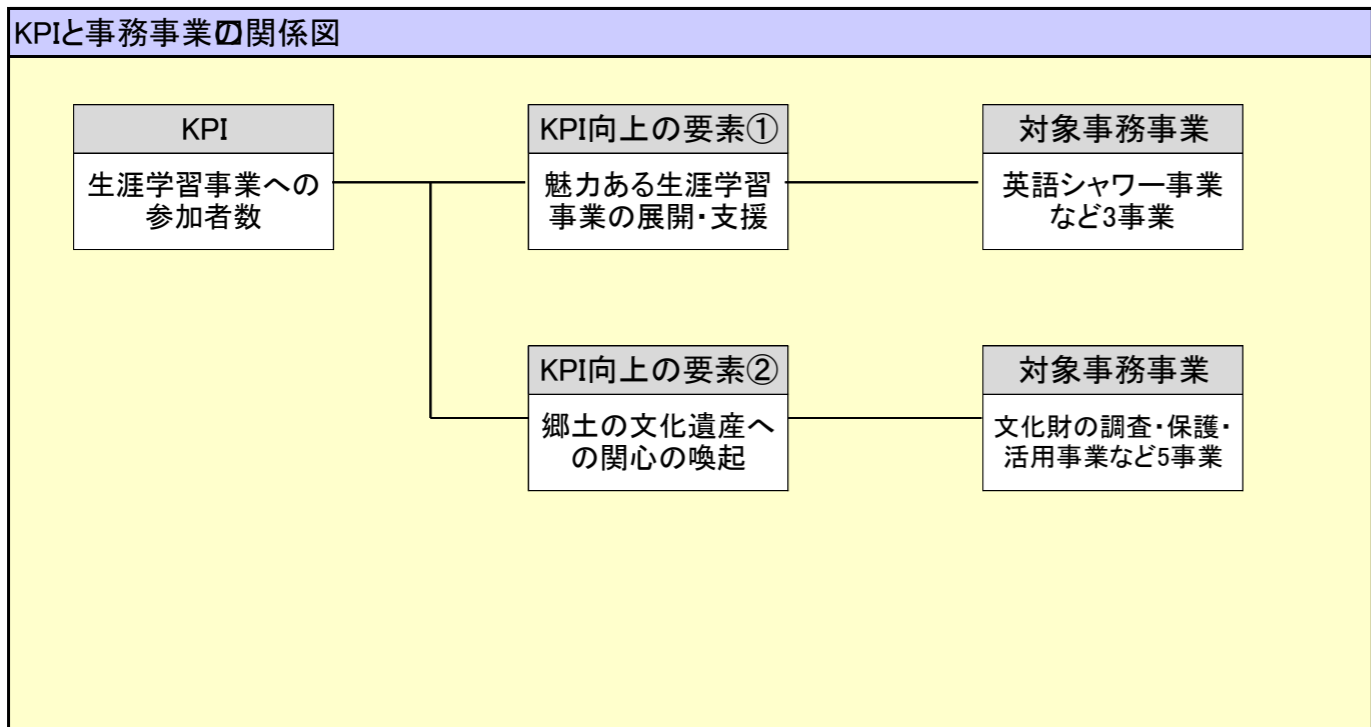
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩
------	-------	---------------	-------

施策名	生涯学習・生涯スポーツの充実		施策の方向性	生涯学習の環境整備	
施策の目的	地域のつながりや豊かな郷土を作るために、多くの市民が生きがいをもって生涯学習・生涯スポーツに取り組むことができる環境を充実させることを目的としています。			生涯学習の充実	
				歴史文化の保存・活用・継承	
				生涯スポーツの充実	
総位置付け	分野	ひと	総合計画	78~79	ページ
	政策	教育政策			

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
生涯学習事業への参加者数	人	151,685	164,000	97,939	59.7%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	生涯学習推進事業	社会教育課	①	3,810	417	3,393	0.43
02	生涯学習支援事業	社会教育課	①	22,375	17,956	4,419	0.56
03	英語シャワー事業	社会教育課	①	13,471	6,606	6,865	0.87
04	文化財の調査・保護・活用事業	文化財課	②	180,629	125,313	55,316	7.01
05	世界遺産保存整備事業	文化財課	②	40,270	34,194	6,076	0.77
06	福井洞窟整備・発掘事業	文化財課	②	10,655	5,289	5,366	0.68
07	針尾送信所保存整備事業	文化財課	②	10,868	5,344	5,524	0.70
08	文化財展示施設等管理運営事業	文化財課	②	27,292	22,478	4,814	0.61
09				-	-	-	-
10				-	-	-	-
11				-	-	-	-
12				-	-	-	-
13				-	-	-	-

事業費等の合計	309,369	217,597	91,772	11.63
---------	---------	---------	--------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●生涯学習の場や機会に関する情報提供が十分でないことから、生涯学習への市民意識の高まりや学習成果の活用が活性化されていない状況にあります。</p> <p>また、スポーツ施設及びスポーツ活動のサポートが十分に対応できていません。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●コミュニティセンター、図書館、少年科学館等の社会教育を実施する施設において、生涯学習情報や、市民ニーズ・地域課題の解決に応じた学習機会・場の提供を積極的に行い、また地域の関係団体と連携を図ることで学習活動の啓発、学習機会の提供に努め、市民の自己実現や地域の問題を解決していく契機となる生涯学習に寄与していきます。</p> <p>市民がスポーツ（する・みる・ささえる）に親しめる環境づくりを推進します。</p>
西九州させば広域都市圏における方向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>共通する文化財に関する情報発信や文化財事務に関する共通課題の解決について、検討を進めていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	D	KPI目標値を達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●目標値に対し、59.7%と大きく下回りました。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、特に出前講座並びに生涯学習ボランティア講師派遣事業の開催自粛が相次ぎ、減少となりました。</p> <p>●英語シャワー事業においては、事業の中止や縮小により目標値には届かなかったものの、SNSを利用した情報発信や、事業の周知のため動画配信サービス（YouTube）を活用し、活動内容の映像配信を行いました。加えて感染予防対策に努め事業を実施することができ、英語によるコミュニケーションに特化した機会を市民に提供することができました。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	<p>【生涯学習推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師派遣事業について、市民の関心の高い講座や地域の問題解決のための講座など、多様な講座の実施により受講者の自己実現を支援するとともに、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成を図ります。 ●より多くの方に生涯学習の機会を持ってもらえるよう、チラシやホームページ、SNS（ソーシャル・ネット・ワーキングサービス）を活用した情報発信を行い、生涯学習推進事業の啓発に取り組みます。 ●コロナ禍の中で外部研修派遣を継続するため、積極的にオンラインを活用した参加を促すなど、職員の資質向上について引き続き促進を図ります。 <p>【生涯学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種補助金について、地域組織の再編が進む中で、地域において行われる事業の目的などを再度確認しながら、補助金が有効かつ効果的に活用できるよう取り組みます。 <p>【英語シャワー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感染症対策に努めながら英語によるコミュニケーションの機会を提供します。 ●リーディングプロジェクト「英語が話せる街佐世保」における「英語で交わるまちSASEBOプロジェクト」を一層推進させるため、特に、新しい街の魅力の向上とグローバル人材の育成を目指した事業に取り組みます。 <p>【世界遺産保存整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度に世界遺産登録から5周年を迎えることから、既存事業に関連付けることで文化財の周知啓発を図るとともに、文化的景観の保存活用に向けて重点化を図ります。 <p>【針尾送信所保存整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●針尾送信所施設が築100年を経過することから後世に継承するための保存調査を行うなど、保存活用に向けて重点化を図ります。 <p>【福井洞窟整備・発掘事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過去に発掘した大学との連携を深め、福井洞窟の文化的な価値を高めるとともに、史跡と福井洞窟ミュージアムとの一体的な活用に向けて重点化を図ります。 <p>【文化財の調査・保護・活用事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「立神広場整備活用事業」において立神広場を日本遺産「鎮守府」の拠点施設となる歴史公園の整備について重点化を図ります。 ●「楠本端山旧宅保存整備事業」においては針尾地区に所在する県指定文化財「楠本端山旧宅」を令和4年度から計画的に保存改修を行うことで、文化財の保存・活用について重点化を図ります。 	
再編・再構築する事業	<p>【生涯学習推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師派遣の依頼など申し込み方法など、時代に即した手法の検討を実施します。 ●生涯学習指導事務について、市民の学習情報へのアクセスを簡易化するため、「まなviva!させば」のリニューアルや、映像情報を積極的に活用するなど、電子媒体による広報の見直しを図ります。 <p>【生涯学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習推進事業補助金について、全ての生涯学習推進会が自治協議会に合流したことを契機に、補助金のあり方について検討を進めます。 <p>【英語シャワー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化等を介した市民と外国人の交流事業の開催のほか、日頃学校で授業を受けている英語について、更に学びを深めたいと思う小学6年生を対象に、英語を話すことと異文化理解を目的とした一連のプログラムを社会教育の領域で提供する「SASEBOグローバルキッズ・チャレンジ事業」に取り組みます。 	
官民協働の方向性	<p>【生涯学習推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師派遣事業について、引き続き生涯学習ボランティア講師と協働し、生涯学習の充実や地域の問題解決を目指します。 <p>【生涯学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種補助金について、地域活動について行政と地域組織で共通認識を持つことを目的に、各地域組織の総会等で、事業内容等についての説明を行うなど、地域組織とのコミュニケーションを継続的に行います。 <p>【英語シャワー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Sasebo Expoや国際交流大運動会などの事業が更に魅力あるものへ進化することを目指して、引き続き官民協働プラットフォームによる活動を深化してまいります。 	

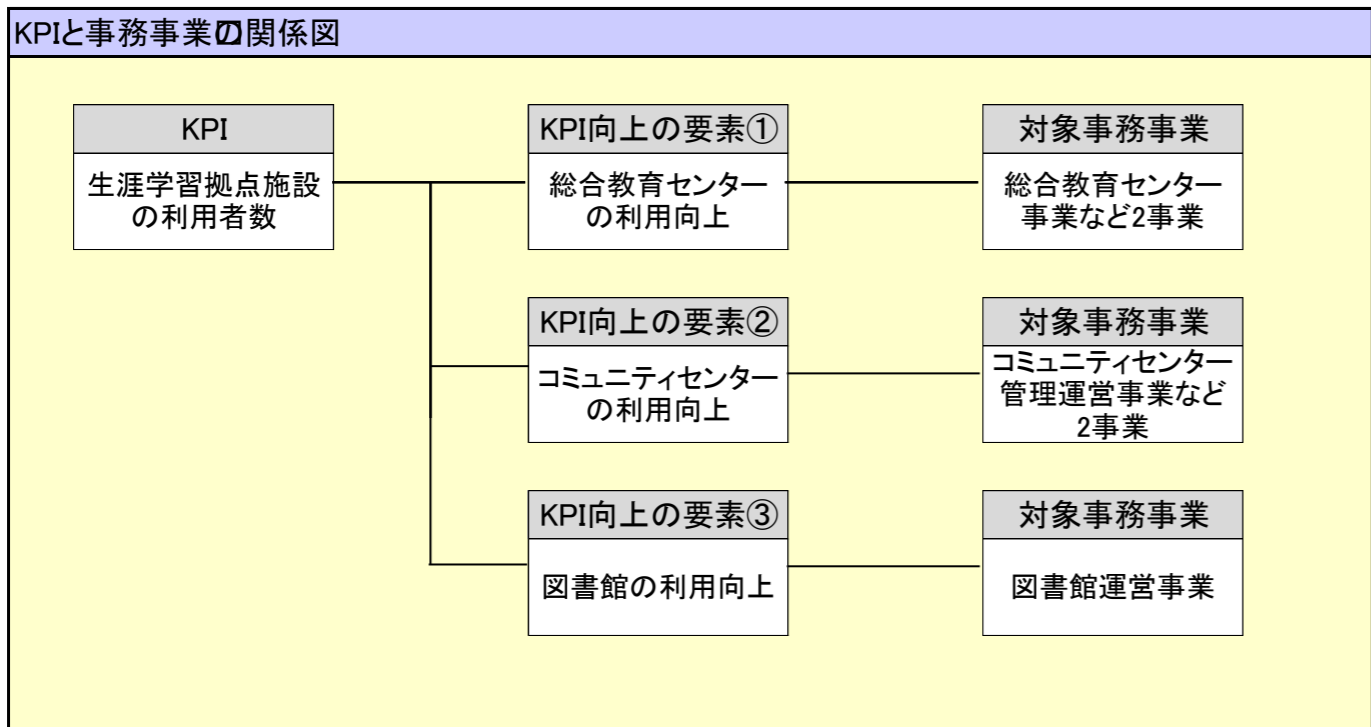
令和 3 年度実施事業 **令和 4 年度 K P I 評 価 シ ー ト**

作成日 令和4年8月24日

担当部局	教育総務部、学校教育部 市民生活部	責任者 (部局長名)	大藤 和浩、陣内 康昭 中西 あけみ
------	----------------------	---------------	-----------------------

施策名	生涯学習・生涯スポーツの充実		施策の方向性	生涯学習の環境整備	
施策の目的	地域のつながりや豊かな郷土を作るために、多くの市民が生きがいをもって生涯学習・生涯スポーツに取り組むことができる環境を充実させることを目的としています。			生涯学習の充実	
				歴史文化の保存・活用・継承	
				生涯スポーツの充実	
総位置付け	分野	ひと	総合計画	78~79	ページ
政策	教育政策				

K P I (重要業績評価指標)	単位	総合計画当初値	対象年度 (R3年度)		達成度 (%)
		平成30年度	目標値	実績値	
生涯学習拠点施設の利用者数	人	1,509,075	1,513,000	926,738	61.3%



◆ KPI向上のため実施した事務事業 ◆

枝番号	事務事業名	担当課名	KPI向上の要素	事業費等 (R3年度決算額)			
				トータルコスト			
				(千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	人工 (人)
01	総合教育センター事業	総合教育センター課	③	54,874	39,092	15,782	2.00
02	少年科学館事業	少年科学館	③	27,512	9,756	17,755	2.25
03	コミュニティセンター管理運営事業	コミュニティ協働・推進課	①	757,843	737,800	20,043	2.54
04	コミュニティセンター活性化事業	社会教育課	①	9,284	4,392	4,892	0.62
05	図書館運営事業	図書館	②	286,293	206,098	80,195	11.00
06				-		-	
07							
08							
09				-		-	
10				-		-	
11				-		-	
12				-		-	
13				-		-	

事業費等の合計	1,135,807	997,138	138,668	18.41
---------	-----------	---------	---------	-------

◆ 第7次総合計画における方向性 ◆

問題点の整理	施策の問題点の整理
	<p>●生涯学習の場や機会に関する情報提供が十分でないことから、生涯学習への市民意識の高まりや学習成果の活用が活性化されていない状況にあります。</p> <p>また、スポーツ施設及びスポーツ活動のサポートが十分に対応できていません。</p>
問題解決の方向性	問題点を解決するための方針（手段）
	<p>●コミュニティセンター、図書館、少年科学館等の社会教育を実施する施設において、生涯学習情報や、市民ニーズ・地域課題の解決に応じた学習機会・場の提供を積極的に行い、また地域の関係団体と連携を図ることで学習活動の啓発、学習機会の提供に努め、市民の自己実現や地域の問題を解決していく契機となる生涯学習に寄与していきます。</p> <p>市民がスポーツ（する・みる・ささえる）に親しめる環境づくりを推進します。</p>
西九州さ せば広域 都市圏に おける方 向性	広域都市圏において、他市町と連携して行う取組の方向性
	<p>●共通する文化財に関する情報発信や文化財事務に関する共通課題の解決について、検討を進めていきます。</p> <p>●圏域の図書館相互利用により利用者の利便性及び文化水準の向上につなげていきます。</p>

◆ KPIの達成状況・分析・次年度に向けた改善の方向性 ◆

A:100～ KPI目標値を達成できた
 B:80～ KPI目標値を概ね達成できた
 C:60～ KPI目標値を十分に達成できなかった
 D:～59.9% KPI目標値を達成できなかった

KPI達成状況	C	KPI目標値を十分に達成できなかった
KPI達成状況の分析		
<p>●目標値に対し61.3%と大きく下回りました。</p> <p>●新型コロナウイルスの影響を受け利用者数の減少により、目標を達成することができませんでした。</p> <p>●KPI向上に向けては、コミュニティセンター施設の利便性向上を目的とした改修やオンラインを活用した主催講座の周知・企画立案の研究、コミュニティセンター職員への研修を行うなど、施設利用者の増加に寄与する取り組みを進めます。</p>		
施策の目的を達成するための、具体的な改善の方向性		
重点化する事業	【コミュニティセンター管理運営事業】	●佐世保市公共施設適正配置・保全基本企画に基づいて、施設の保全を適切に実施します。
	【コミュニティセンター活性化事業】	●コミュニティセンターが主催する講座やサークル活動・地域活動など市民活動の手法を研究・共有することを目的に、内部研修の充実及び外部研修への積極的な派遣を行います。
再編・再構築する事業	【図書館】	●電子図書館の利用率の向上を図るため、コンテンツの充実及び図書館独自の資料データベースのさらなる拡充を行い、より高度な利用者ニーズに応えられるよう努めます。
	【コミュニティセンター活性化事業】	●コロナ禍への対応として、従来の会場参集型講座に加え、オンライン講座等を積極的に提供するなど、非接触の学びを提供することで、コロナ禍における学習方法を見直します。
官民協働の方向性	【図書館】	●ニーズを的確にとらえた講座や活動を提供するため、職員の社会教育的資質の向上を目指し、社会教育主事講習への積極的な派遣を行います。
	【図書館】	●既に社会教育主事講習を受講した職員のスキルアップを目的に、社会教育主事講習の一部科目指定講習への派遣を行います。
官民協働の方向性	【図書館】	●電子図書館の利用率の向上を図るため、コンテンツの充実及び図書館独自の資料データベースのさらなる拡充を行い、より高度な利用者ニーズに応えられるよう努めます。
	【コミュニティセンター活性化事業】	●コロナ禍でイベントや講座を行うにあたり、リアルとオンラインを融合した新しいイベントの形に挑戦し、参加者や利用者との交流の機会を広げ、利用者の増加につながるよう努めます。
官民協働の方向性	【コミュニティセンター活性化事業】	●主催講座において、多様化するニーズに応える講座を提供してだけでなく、普遍的な課題にアプローチする講座や、地域課題の解決につながる講座も提供していくため、NPOや学校、地域組織とのコミュニケーションを継続して行います。
	【コミュニティセンター活性化事業】	●職員研修において、職員の「協働する意識」を醸成するため、公的団体が主催する研修以外にも、民間団体が主催するセミナー等にも積極的に職員を派遣し、民間の考え方や実践を吸収しつつ、ニーズの把握にも努めます。